

## 6. 地方からの便り

### 第14回上球磨地域幼年消防大会を開催

熊本県 上球磨消防組合消防本部

平成16年11月2日（火）、幼年消防クラブ員が待ちに待った、上球磨地域幼年消防大会を実施しました。

今年で第14回目を数える本大会は、管内で結成されている幼年消防クラブ18クラブのうち17クラブ441名が一堂に集い、2年に1度のイベントとあってクラブ員は皆心待ちにしておりましたことと思います。

第1部の式典のあと、第2部ではクラブ代表者18名によるくすだま割りのオープニングから始まりアトラクションでは、早苗保育園幼年消防クラブによるきびきびとした通常点検の披露に観客は皆目を細めて喝采の拍手を送っていました。

そのあと、消防署救助隊による展示訓練等の披露があり、続いて約2時間わんぱく広場で消防車の見学、ミニ消防車試乗、ミニSL試乗、煙体験、フワフワエレファントなどのコーナーを回って、短い時間ではありましたが楽しいひと時を過ごすことができました。

閉会式では全員で「手のひらを太陽に」を合唱し、心を新たにして『防火の誓い』を再確認し全日程を終了しました。



[▲このページの上に戻る](#)

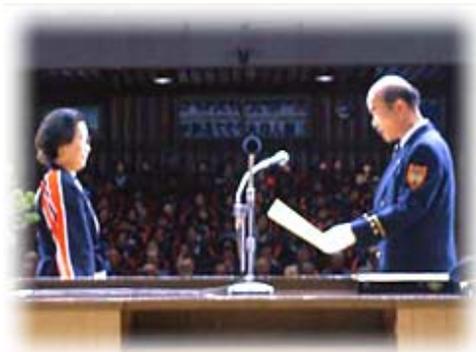
### 第36回市民防火のつどい

長崎県 長崎市消防局

防火意識の高揚を目指す「第36回市民防火のつどい」が11月17日（木）魚の町・長崎市公会堂において行われました。

長崎市婦人防火クラブ連絡協議会（松本スミ子会長）や市消防局などが、各地域の防火団体の連携を強めようと毎年開催しているものです。市内の340の婦人防火クラブ、40の少年消防クラブなどから約2,000名が参加しました。

つどいでは長崎市消防局長より、婦人防火クラブ会長職を20年間務めた西本妙子さん、尾上千代子さんら6名をはじめ、



防火活動に功績のあった計23名に表彰状を贈呈し、また、参加者全員で「相互連帯を密にし、さらに大きく防火防災の輪を広げます」と防火宣言を読み上げました。

防火意識の普及啓発と、会員相互の親睦を図ることによって、各クラブ員の自主性と連帯意識が醸成され、ひいてはこれが積極的な防火防災活動につながり、「自分たちの地域は自分達で守る」という目標達成が図れました。



▲ このページの上に戻る

## 第50回県小学生火災予防研究発表大会

富山県 富山市消防本部

第50回県小学生火災予防研究発表大会が、11月13日（土）富山市消防本部で行われました。県内18小学校の計98名が参加し、氷見市加納小学校6年（大森遼君、金谷太智君、萩山承子さん、酒元暁啓君、坂絵里菜さん、大石大佑君）が特選と北日本新聞社表彰に、高岡市万葉小5年が金賞に選ばれました。

加納小は「ヒューマンネットワークを大切にした防火プロジェクトの輪」をテーマに、世代ごとの防火対策について発表し、万葉小は動画などを駆使し、火災から同校区を守る活動を紹介しました。参加者はこのほか、地元消防団の活躍や火事の原因などを調べて火災予防の大切さを訴えました。

北日本新聞社の竹沢事業部長が講評、県消防防災課の藤井課長が受賞者に賞状などを手渡しました。表彰は次の通りです。

特選・氷見市加納小6年、金賞・高岡市万葉小5年、銀賞・南砺市井口小6年、小矢部市大谷小5年、銅賞・南砺市福野小5年、細入村大沢野町学校組合神通碧小6年



▲ このページの上に戻る

## 第29回市民と消防のつどい

大分県 別府市消防本部

平成16年11月14日（日）午前10時00分から午後2時00分まで、第29回「市民と消防のつどい」を別府公園で開催いたしました。

この催しは、秋の全国火災予防運動行事の一環として【火災のない、明るい街づくり】をめざして、市民の皆様に防災意識の高揚や、火災予防思想の普及を図るため、体験や見学を通じ理解を深めていただくため開催したものです。

催し物については、餅まき・明星幼稚園幼年消防クラブの鼓笛演奏・はしご車試乗体験・救急隊員と女性消防団員による応急シミュレーション等その他チビ子レインジャー・煙の怖さ体験・水消火器による消火チャレンジャーなど、多くの体験コーナーを用意しましたところ、大変好評でした。

また、当日は17地区社協及び福祉団体による模擬店などを含め多彩な行事が繰り広げられました。

なお、天気予報によれば90%と雨予想が発表されたが、予想とは大きく違い晴天に見ぐまれ多数の市民（約30,000人）が参加して頂きました。



[▲このページの上に戻る](#)

## 平成16年度婦人消防協力隊・自主防災組織指導者等合同研修会

岩手県 両磐地区消防組合消防本部

両磐地区幼少年婦人防火委員会では、11月20日（土）管内の川崎村生涯学習センターにおいて、婦人消防協力隊と自主防災組織指導者等の合同研修会を実施しました。

研修会は、幼少年消防クラブの指導者、婦人消防協力隊員、自主防災組織の指導者ら180名が参加しました。

川崎村婦人消防隊長 小野寺さち子さんの体験発表では、平成13年の隊長就任時からの取り組みを振り返るとともに、今後の活動への展望を示しました。特に、就任2年目には「実際に即した活動を」との考えから『総会時の普通救命講習』『班長を対象にした初期消火訓練』『郡下連合演習で軽可搬ポンプ操法を実施』など、多彩な活動を導入したことを紹介しました。これからに向けては「非常時の行動や対処など、1回の参加で多くのことを



学べる取り組みを心掛けたい。また、自主防災組織と協力して、災害に強い地域づくりを実践したい」と意気込みを述べました。

体験発表後、IBC岩手放送の河辺邦博氏の講演が行われました。講演では、昨年5月宮城県沖を震源とする地震において放送局の施設が被害を受け、報道をする者としてたいへん悔しい思いをしたことから、日頃の災害に対する備えが非常に大切であること、地震災害によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）の実態などの話がありました。

参加した自主防災組織の指導者は、「非常に親しみやすい雰囲気の中で講演の内容が具体的で、時を忘れて話を聞くことができた。災害に対する備えの大切さを再認識した。」と気持ちを新たにしていきました。

▲ [このページの上に戻る](#)

## 姫路市婦人防火クラブ連絡協議会親善バレーボール大会を開催!!

兵庫県 姫路市消防本部

姫路市婦人防火クラブ連絡協議会（溝脇静子会長）では、春季火災予防運動に先立ち、2月26日（土）に「第19回姫路市婦人防火クラブ連絡協議会親善バレーボール大会」を開催しました。

この大会は、平成7年の阪神淡路大震災の年を除き、昭和61年から毎年開催しており、今年で19回目。バレーボールを通じて、婦人防火クラブ員相互の親睦と連帯及び有事の協力体制を強化しました。

出場チームは、昨年秋の各地区婦人防火クラブ連合会親善バレーボール大会の予選（37チーム参加）を勝ち抜いた精鋭12チーム（120人）。

また、防火・防災意識の高揚を図るため防火研修を毎回実施。今回は、新たな住宅防火対策の必要性をクラブ員に理解してもらうため、「住宅用火災警報器」の取り扱いと一般住宅への設置義務化等について研修しました。



### 1.日時

平成17年2月26日（土）

9時30分から15時30分まで

### 2.場所

姫路市西延末90 姫路市立中央体育館

### 3.試合結果

- 優勝：別所校区婦人防火クラブ（姫路東婦人防火クラブ連合会）
- 準優勝：八幡婦人防火クラブ（飾磨婦人防火クラブ連合会）
- 第3位：御国野校区婦人防火クラブ（姫路東婦人防火クラブ連合会）  
安室婦人防火クラブ（姫路西婦人防火クラブ連合会）



試合風景（地元チームの応援）



優勝チームを囲んで！

▲このページの上に戻る

## 上天草市誕生後初の消防出初式、牟田地区のお年寄りを訪問

熊本県 天草広域連合消防本部

### ●上天草市誕生後初の消防出初式

今年も、新春を告げる消防出初式が1月2日から9日まで天草各地で行われ、各市町の防火クラブ員多数が参加して華を添えました。

1月4日、上天草市誕生後初の消防出初式に大矢野町あそか保育園幼年消防クラブが参加しました。同クラブは昨年7月に結成されたばかりですが、5月の連休明けから練習してきたマーチング演奏を立派に披露することができました。少々緊張気味でしたが、元気いっぱいのその姿は寒さにも負けない凛々しい姿でした。

本渡市の宮口区婦人防火クラブは、1月6日の本渡市出初式に参加しました。クラブ員は各家庭の主婦であり、訓練のある日は、夕食の後始末も早々に済ませ、海からの潮風を受ける佐伊津漁港前広場で訓練を重ねました。出初式では星光園婦人防火クラブとともに規律ある入場行進、通常点検でした。

また、新和町消防出初式では、新和小学校と大多尾小学校の少年消防クラブ員が碗用ポンプを使った珍しい玉落とし競技を行いました。ポンプ突き手が「ワッショイワッショイ」の元気な掛け声でポンプを突き見事に玉を落としていました。

その他にも各市町で幼少年消防クラブが出初式に参加し、将来を担うチビッコの勇姿に観客から喝采が寄せられていました。



### ●牟田地区のお年寄りを訪問

上天草市立牟田小学校少年消防クラブでは、12月20日牟田地区のお年寄りを訪問し、心を込めて育てた花鉢を贈り、健康長寿を祈った作文を読みあげて防火を呼びかけました。

これは、一人暮らしのお年寄りを訪問し、防火を呼びかけることをとおして、お年寄りを慕う心情と少年消防クラブ員としての意識の向上を図る目的で、毎年実施しています。

当日は、クラブ員26人が4班に分かれ、校長先生以下教職員5人、上天草市消防団大川副団長、地区分団長、東天草分署職員と一緒に13人のお年寄りを訪問しました。

「スイートピー」と「キンギョソウ」2個の花鉢を受け取ったお年寄りは、クラブ員の温かい心遣いに感謝し、笑顔で防火を約束されていました。



## 第24回婦人防火教室が開催されました

島根県 浜田地区広域行政組合消防本部

平成17年1月22日（土）、浜田地区消防本部において「第24回婦人防火教室」が開催され、管内婦人防火クラブ員が消火訓練、避難訓練、応急手当訓練等を体験しました。

日頃火を取り扱う機会の多い女性の皆さんに、家庭における防火意識の高揚と地域に防火の輪を拡げていただくため管内18防火クラブの代表者22名が参加して開催されました。

午前中は浜田地区消防本部予防課長の挨拶に始まり、防火の話や地震の話、防火映画の上映を行い防火の知識を学びました。特に一般家庭に義務設置とされる住宅用火災警報器の説明は、皆さんが真剣に聞いておられました。

午後からは煙の体験に始まり、消火訓練、応急手当訓練を行い、消火訓練時は実際に燃え上がっている炎を消火する際の色々な消火方法や注意事項を真剣に聞き、実際に消火器で消火する際はスムーズに消火できました。

今回の開催で24回目となりましたが、参加していただく方は過去の参加者以外の方としており、防火思想の拡大に今後とも努めて行きたいと思っております。



### 目次

- [1. 全国婦人防火連合会（総会）](#)
- [2. 平成16年度住宅防火推進懇談会](#)
- [3. 平成16年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会報告（九州・沖縄地区、北海道・東北地区）](#)
- [4. 林野火災を防ごう！（消防の動きより）](#)
- [5. 新任会長紹介](#)
6. 地方からの便り